



大内順子・宮内 彩/著

## おしゃれのエッセンス

— The Essence of Style —

単行本 111頁 定価¥1,300 (税込)  
発行所：(株) 近代文芸社  
〒112-0015 東京都文京区目白台2-13-2  
TEL 03-3492-0869 FAX 03-3493-1232  
ISBN4-7733-5459-3 C0095  
1996年発行

【評者】<sup>かじみゆき</sup> 鍛冶美行

『おしゃれのエッセンス—The Essence of Style—』は、ファッションジャーナリストの大内順子さんと、同じくパリやミラノコレクションの取材をしている娘さんでもある宮内彩さんの共著書です。第1章「小物へのこだわり」第3章「自分らしさを演出する」は、宮内彩さんが、第2章「装う楽しさ」は大内順子さんが執筆しています。第4章「自分を磨くライフスタイル」はPart 1とPart 2に分かれていて、前者を大内さんが、後者を宮内さんが担当するといった、交互の著作となっています。最後に「本当のおしゃれとは？」と題して、コレクション取材をしている母娘の対談形式で本書は締めくくられています。

各章には、ご自身の経験を通して、おしゃれを演出する数々のアイテムとの楽しくて上手な付き合い方が書かれてありますが、全編を通して基調にあるのが、本書の英文タイトルにもあるように、自分の「スタイル」を持つことがおしゃれのエッセンスでもあるということです。

いかに自分をおしゃれに演出するかの第一歩として、自分に似合うものを知る

こと、と宮内さんは書かれています。「最新の流行やトレンドを、そのまま着ても、自分に似合うとは限りません。自分を美しく見せないものなら、おしゃれには見えません」等々。自分に似合うものに、流行やトレンドを取り入れて、自分らしさを演出することこそ、おしゃれに見えると説かれています。

また、決して装いだけではなく、日頃のライフスタイルの中に、おしゃれは潜んでいることもあります。ちょっとしたプレゼントにも、おもてなしにも、気が利いていて、その人のセンスがきらりと光る演出の具体例が紹介されています。

最後の章では、母と娘の会話の中で、お母さんの「おふる」を娘さんが、クラシックなところがかえって新鮮！と、喜んで着ることになる場面が出てきます。「あなたよりお洋服の方が年上じゃないかしら……」とお母さんが娘に言う言葉に、思わず笑いがこぼれました。そんな逸話を紹介しながら、お二人の共通の「本当のおしゃれとは……」。これは本書をお読みになるまで、皆様のご想像にお任せすることにいたしましょう。